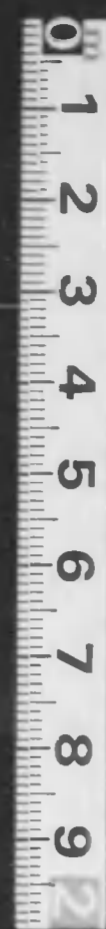


週寫眞報

編輯部報情閣内
ンセ十・號五十五第・日八月三

昭和十三年三月八日 第三十卷 第五十五號 三月八日發行 每冊五錢 郵費在內

雪の練兵





見わたすかぎり白皚々
 襟林に微風がひよ／＼
 となる大快晴のこの日、
 驛山から新赤倉に雪の進
 軍はつゞく。

雪の練兵

千巻加影映

我が家の貯蓄
 コドモの保険

徴兵保険
 教育結婚保険

本社 東京銀座

第一徴兵

★ 隊 部 田 島 ★



海拔五百九十三米、開山麓野地に壯烈無比の「想定」による演習「演習」はくりひろげられた。二門の山麓の脚部には砂礫のかはりに雪崩がギョウシとかたつくまされる。演習は雪崩に伏す作業班の兵の手から手に。そして、「射て！」の命令一下、砲弾は激放な音をたて、雪原をこえ、溝をこえ、はるかマコ山の北方野地的の附近に炸裂する。



雪中射撃訓練に協力する通信観測班と無線班。右上は巻箱を背負つてスキーでスル／＼と架線作業をする通信観測班。左上は砲隊鏡で射撃観測の観測手。下は無線班の通信連絡。





新發田歩兵筒井部隊



關山から新赤食へ
白飯の二俵村にスキーをいた偵察隊が来た。その後に本隊の兵隊たちは、汗で顔を濡らし、餅引きで胃をほらしてやつて来た。部隊は小休止だ。日の丸たて、兵隊さんくちま茶とタバコを吸くまじい接待がそこにもこいにもはじめられる



雪の結核、新發田歩兵部隊に連日つゞけられる猛襲は陽もほとんど照らない裏日本の冬に軍國日本の譽れを高くあげてゐる。



上は五十公野陸軍基地に参拜の新發田の將士、下は襦袢をかぶつて監視中の歩哨。雪と兵隊の一日はこゝからはじまる――



雪中天幕露営の準備
 營庭に乘馬の調教訓練

雪中の飯食炊事

分隊の機関銃隊

★隊部井筒★

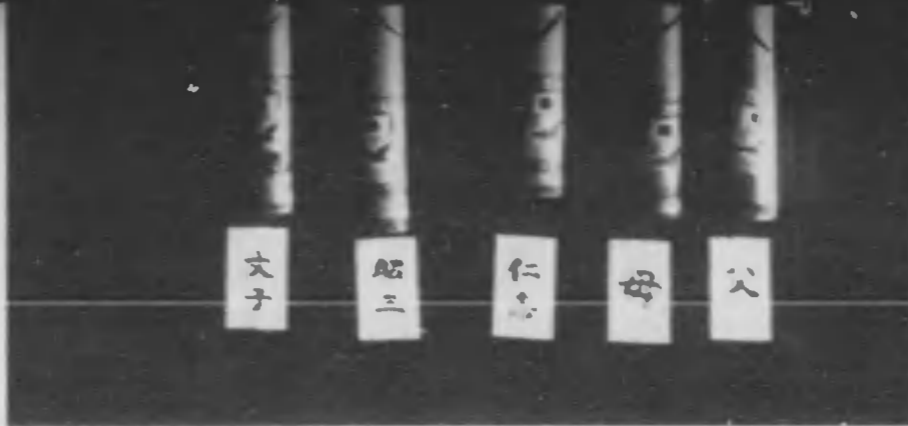
突撃準備から、「突込み！」に移る一瞬

撮影 加藤 恭平



↑「御苦労はんだんな、年寄りには年寄なかに働かしてもらって、一寸づつでも貯金をせんとくはは」

一ひるから貯金箱と通帳を集めに参りますから御用意願ひます。もし御出かけになる御宅は隣りの家に預けておいて下さり、桃太郎の聲が明朝に町内にひびき渡る。



浪速区南大阪町会、桃太郎貯金は市内でも有名だ。どの家庭でも主人から召使にまで一人々々貯金箱を持つて各人名義で貯蓄して生れるが、町内に子供が即日新しい貯金箱を御祝として贈り、桃太郎貯金の一員に加へる。そして毎月十六日の貯金日があると、町会の役員は桃太郎の衣裳をつけ、桃太郎貯金の旗を押し立て、編織の音も勇ましく貯金の宣傳をしながら町内を一周、午後九時同様に各戸を訪ね、貯金箱と通帳を集めて廻る。

八十億を目標とする国民貯蓄運動第一年度も急々進み所僅かとなった。大蔵省貯蓄奨励局の発表によると、昨年四月から十二月まで九ヶ月間の貯蓄高は早くも五十六億圓を突破、臨時財政への国民的協力強まりことにたのしい限りであるが、臨時市民生活運動の實行に全市民運動員が活動をつとけてゐる大阪でも貯蓄奨励には特に力を入れ、目覚ましい成績を挙げた。臨時市民生活運動の實行単位である市内三千の町会はまだ貯蓄奨励の實行単位であつて、各町会では何とかして貯蓄の習慣を町内に一人残らず植えつけ、貯金の成績を挙げようと、夫々新しい工夫を凝らして努力をつとけてゐる。

撮影 大阪市役所

桃太郎の奮闘は報いられて浪費の鬼は忽ち降参、勤儉力行の町内からは貯金の實がどの家庭からも集まる。この一月競争のためのバツトの空箱利用の貯金箱と郵便貯金の通帳を持つてお父さん、お母さん、子供も。

↑一人一本の竹筒貯金を勵行してゐる西淀川区江中二町会。今日は同様の集金を終へて役員一同嬉しい忙しさ。この月にはまたお楽しみだぜ。算盤玉が勢よく鳴る。



日本の友情

チリへ慰問品を



↑ 七萬の人口のうち、二萬の死者を出したと報ぜられたチリ市の惨状。見るかげもな家の跡に歸つた被災者が深ながら柱を押しあげて亡くした家族を探してゐる。



同盟通信社

↑ チリアンから約四百キロも離れ、比較的被害の少なかった首都サンチャゴですら一萬五千の人が家を失つたといはれてゐる。この高層と同じやうな高層ビルは思ひ出を持つわれわれから何とかな慰問品を送らねばならない。

一月二十四日南米チリの中緯チリアンコンセプシオン地方を襲つた地震は意外に大きな被害を惹き起し、死者は八萬に上つたといはれる。殊にチリアン市の如き、美しい繁華な市街が一夜にして惨たる廢墟と化してしまつた。チリ震災の報一たびわが國に傳はるやかつての関東大震災の際チリからの遠かい恩義を直接うけた人は勿論、全國から同情の聲は慰問品、慰問品となつて高層ビルも非常時局下外國為替は嚴重に管理中であるにもかかはらず、慰問金の送金は特別に許すことになつたが、日本雜貨中南米輸出組合聯合會及び日本商工會議所は、年來チリ國民が貿易上を示してくれたい好意に報いるためにもこの際大いに氣の毒な五邦の人々に慰問の誠を示さうと、一萬五千元を繰出し、半額は現金で、半額は食料品及び食料品で現地贈ることになり、三月二日横濱出帆の愛宕丸及び三月五日同じく横濱出帆のヘニス丸で日本から最初の温かい慰問品としてチリに向け輸出された。



撮影 菊地俊吉

震災で家を失つた人々に何よりもまず食糧と食器を、買ひあつめられぬ國産ガラス食器類と陶器及び雑話類とその積込み。



北 京 へ 農 民 だ つ 失 を 獲 収

中華民国臨時政府が北京に遷生して第一ヶ年、畿輔から離れた古都北京は北支の政治經濟文化の中心地として賑へり活潑な動きを示してゐる。畿輔に耕地を失つた農民の田舎地帯の恐慌、北方軍切下げによる通貨政策の樹立等は長年漸進的の能くなき苛政に苦しんでゐた無事の民の腹を苦しめてやまぬところであつた。「日軍撤去」と誓いた張作霖は北京青のそこ、ここに貼られ、日本の婦人會の優しい慰勞の手は貧民の救済にさし延べられてゐる。北京の三月はまた寒い。北京日本婦人會は奉天と似えに賑く貧民に米を、贈手が結ぶ日軍撤去の實を擧げた。



「日本の婦人はほんとに優しい方だ。女の氣持は女同志で、そうなんだから、神よくしよう」とこんな私語が聞えそつた。



心づくしの賑業を「今か今か」と、奮然せる貧民の群に日本人の仁愛は油然としてわきあがる。



「おはあさん上げますよ。はい、はい。こんがうれいことはいないよ。苦惱に耐えられた姉は喜びに消える。」



「言葉にまわれや」と迫つた。米桶で賑ははれと安堵した。家にあつた。若出。米水。察に力がこもる。



「米水。日本の賑業。抱きしめ、山。安。」



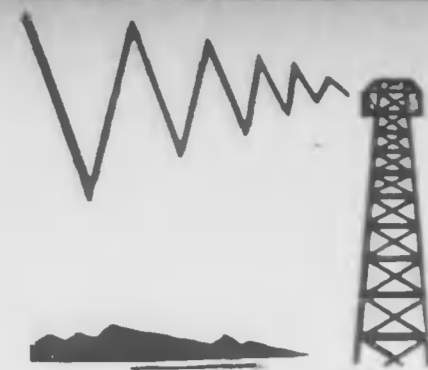
「姉ちゃん、日本人の賑業。いいね」と大げさは。み米。えんたてくわね。



足のない山なお爺さんは巡警。近所の人が助けられたから杖に施米を托し、家路に歸る。



何日振りて食ふ米か。杖。すかる。老を憐んで。人。わ。等。米。を。買。つ。た。人。思。ひ。は。感。謝。の。情。につぎる。



**ベルギーの
國境要塞なる**
ドイツとフランスに
はさまれ戦争の危機を
ひしと感ずるベル
ギー國軍はかねてフラ
ンスのマゼノ線と同様
の威力をもつ獨白國境
要塞を設置構案中であ
つたが、このほどいよ
つて完成した。高直上
は要塞入口、中は戦車
砲台構、下は國境附近
國道に埋藏點される
カノン砲。



**ガルミッシュに
スボーツの華さく**
第三回國際多期競技
大會は第十一回オリン
ピック多期競技大會場
であつたガルミッシュ
・バルテンキルヘン
で一月下旬白蛇々の連
業を背景に華やかに開
催された。一月二十二
日にはドイツ選抜軍對
カナダのアイスホッケー
が行はれ、七對二で
カナダが快勝した。



**國會開會式に
ヒ總統の大獅子吼**
大ドイツ國會はナチ
ス政権掌握六周年記念
日たる一月三十日ベル
リン、クローネンホル
で開かれた。この日に
總統はバルセロナ陥落
後の微妙な歐洲情勢に
對するべきドイツ政府
の態度に於て獅子吼
の聲を上げた。植民地返還要
求とイタリヤ援助の強
調が特に注目された。

**ドイツ・
ホーランド會談**
リッペンントロップ獨
外相は獨波不可侵條約
記念日の一月廿六日、
ボローアの首都ワル
ソーを訪れ、獨波兩國
を律する現下諸問題に
つきベック波外相と會
談、ボローアは反共
國家なることを明ら
かにし、こゝに兩國は一
層緊密なる諒解に入つ
た。眞實は向つて右か
らベック波外相、フ
レン・モントケ獨大使、
リッペンントロップ獨外
相、スミグリー、リ
ズ波國軍總監。



寫眞協會
同盟通信社

